

【礼文町】
校務 DX 計画

次世代の校務 DX は、第 2 期 GIGA スクール構想の中で、校務系・学習系ネットワークの統合と次世代校務支援システムの整備を行うとともに、クラウド活用を前提とした GIGA スクール環境の積極的な活用により、教員間や校内・校外の学校関係者の負担軽減・コミュニケーションの迅速化や活性化を行うことが可能としています。

現在本町では、校務支援システムが未導入となっていることから、端末更新に併せてクラウド型校務支援システムを導入して速やかに運用することより、教員及び関係者の業務効率化を推進します。

また、学校間や教育委員会と学校との連絡や通知は、引き続き、原則メールや共有フォルダ等を利用して行うとともに、令和 5 年度からは原則押印を廃止していることから、その徹底に努めます。なお、学校と事業者との FAX でのやり取りについては、明らかにメールより FAX のほうが効率的・効果的であると認められる場合を除き、FAX からメールへの転換について、学校の意見を踏まえつつ教育委員会から事業者へ要請していきます。

さらに、学校と保護者とのやり取りで押印や署名が必要な書類が見られることから、必要最小限となるよう学校に検討を促すほか、アプリやソフトウェアを活用して学校・教員と保護者間の連絡のデジタル化を加速し、児童生徒への各種連絡のデジタル化による業務の効率化を図ります。こうした取り組みと連動して、スケジュール管理のオンライン化や不合理的な手入力作業の一扫など、校務処理の負担軽減と効率化、ペーパーレス化にも取り組んでいきます。

その他、ICT を活用して校務の効率化を図ることで、教員の負担等を軽減して児童生徒と向き合う時間を確保し、学校における働き方改革を推進します。